2026 年度 まちづくりアンケート
（小中学生対象）
結果概要

Ⅰ　調査の概要

■調査目的

この調査は、町内在住または町内の学校に通う小中学生の皆さんが、普段のどのようなことを感じ、これからのまちづくりに何を重要と考えているのかを把握するために実施しました。

■調査設計

調査対象：町内の小学 6 年生、中学 3 年生
調査方法：WEB 調査方式
調査期間」令和 8 年 7 月～8 月

■回収結果

＜小学生＞
発送数：301 件
回答数：259 件
回答率：86.0%

＜中学生＞
発送数：294 件
回答数：144 件
回答率：49.0%

■調査項目

・属性質問　4 項目（性別、居住地　等）
・町での暮らしに関する質問　5 項目（町の愛着、改善点、地域活動への参加状況　等）
・学校生活に関する質問　2 項目（満足度、改善点　等）
・まちづくりに関する質問　1 項目（将来の居住意向、町に対する意見・提案　等）

■調査結果の見方

・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、 百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。
・１人の回答者が複数回答する設問では、その比率の合計が 100.0%を上回ることがあります。

Ⅱ　調査結果

回答者の属性

○性別

	小学生	中学生	合計
男性	122	72	194
女性	133	68	201
その他	1	2	3
答えたくない	3	2	5

○住んでいる地区

	小学生	中学生	合計
日詰	55	42	97
古館	69	49	118
赤石	70	31	101
志和	26	0	26
水分	10	0	10
赤沢	8	4	12
長岡	6	4	10
彦部	11	9	20
佐比内	3	5	8
その他	1	0	1

○居住歴

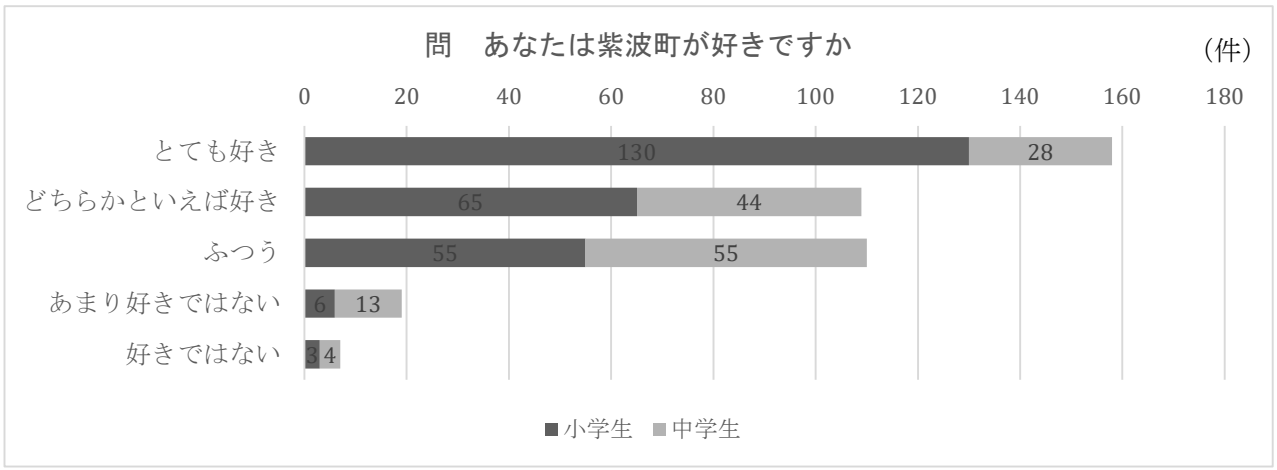
問　あなたはずっと紫波町に住んでいますか。

	小学生	中学生	合計
はい	158	101	259
いいえ	82	36	118
分からない	19	7	26

町への愛着

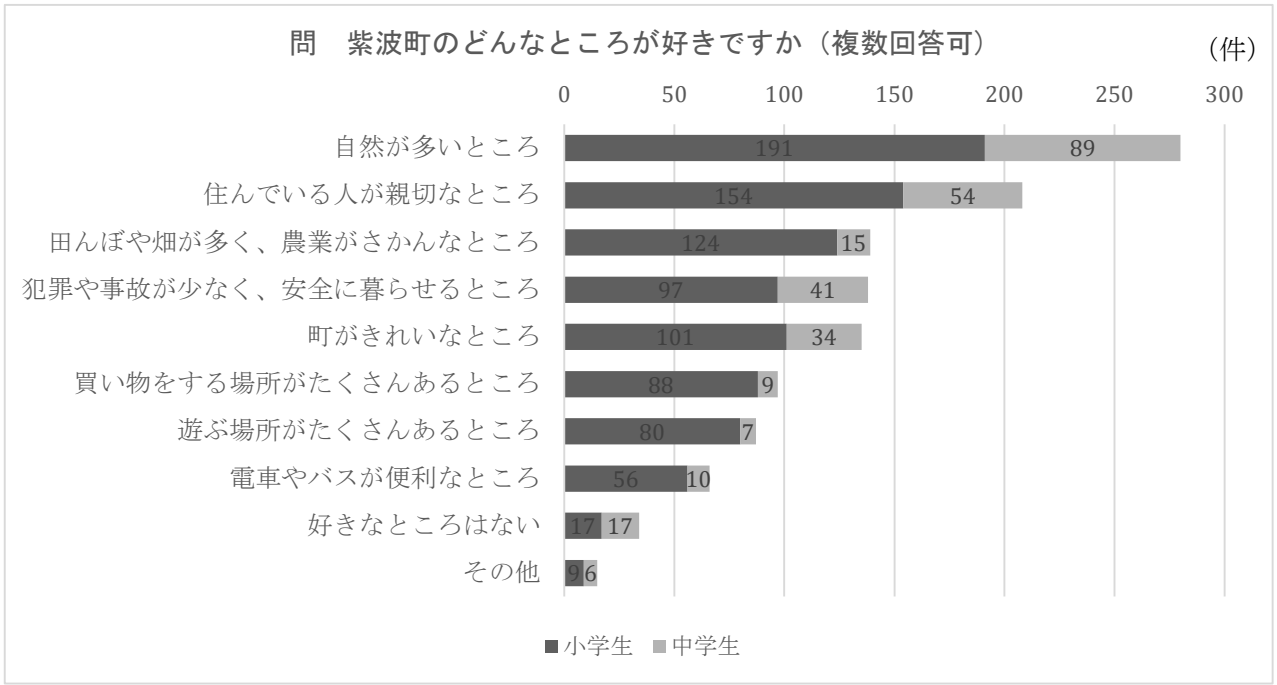
町への愛着度

小学生では「とても好き」が半数を占める一方、中学生では「どちらかといえば好き」「ふつう」が多かった。



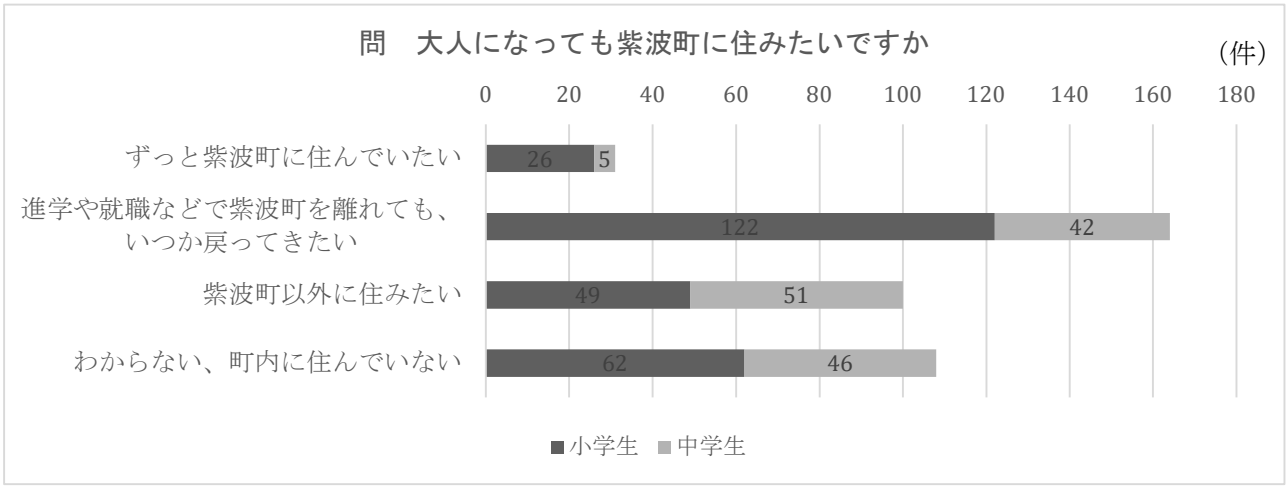
町の好きなところ

小中学生ともに「自然が多いところ」は最も多く、ついで「住んでいる人が親切」が多い。小学生に比べ、中学生は「農業がさかんなところ」を選択した人が少なかった。



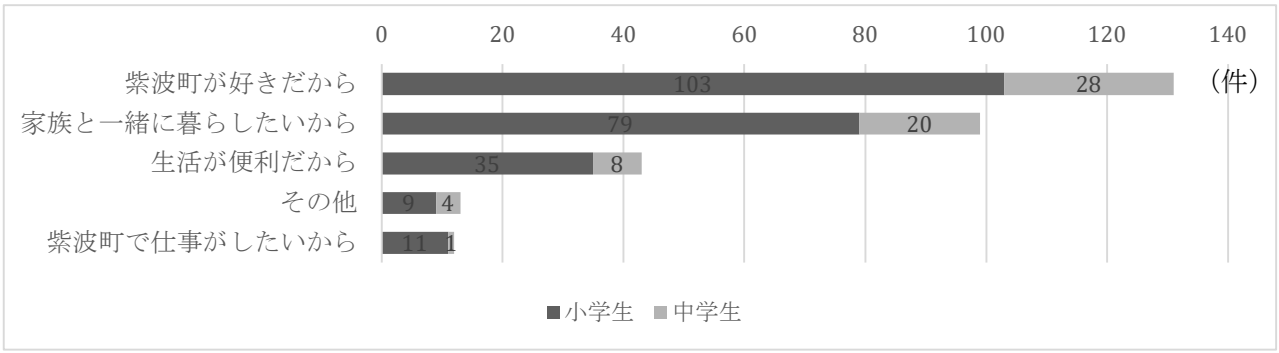
将来の定住意向

小学生は「進学や就職などで紫波町を離れても、いつか戻ってきたい」が半数を占めた一方、中学生は「紫波町以外に住みたい」が最も多かった。



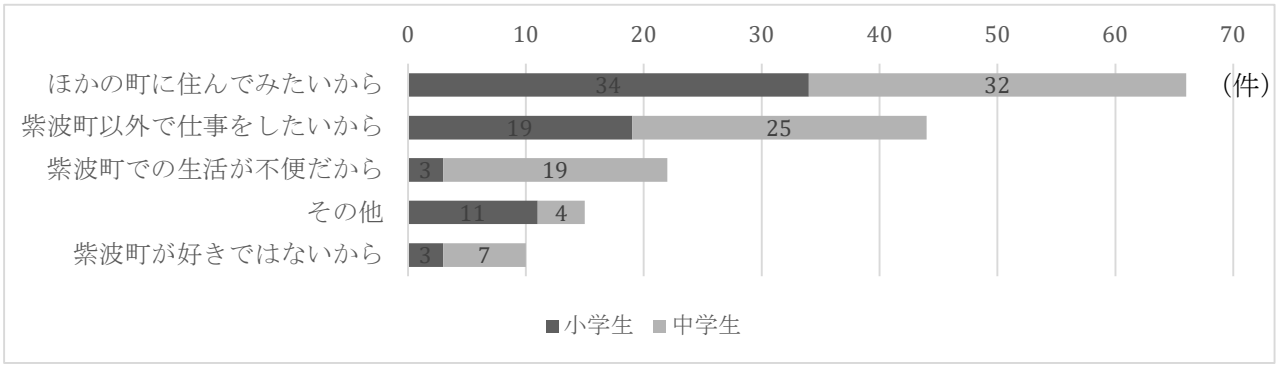
＜住み続けたい、戻ってきたい理由＞

小中学生ともに、「紫波町が好きだから」が最も多く、ついで「家族と一緒に暮らしたいから」が多かった。一方、「紫波町で仕事がしたいから」という回答が最も少なかった。



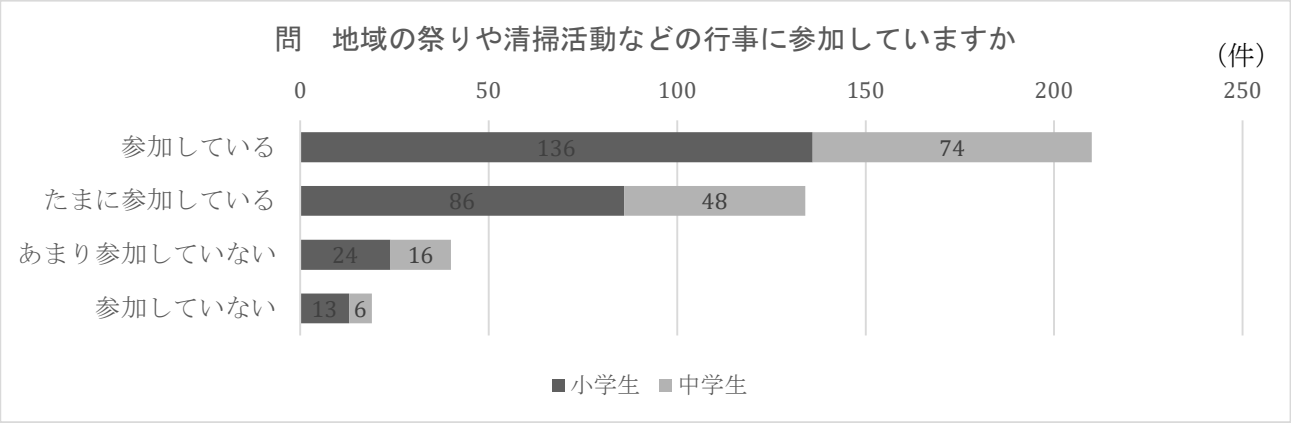
＜紫波町以外に住みたい理由＞

「ほかの町に住んでみたい」「紫波町以外で仕事をしたい」が上位となる一方、「紫波町が好きではないから」「紫波町での生活が不便だから」は少なく、紫波町への否定的な評価よりも、他地域への関心や就職先に関する理由が多い傾向がみられた。



地域活動への参加状況

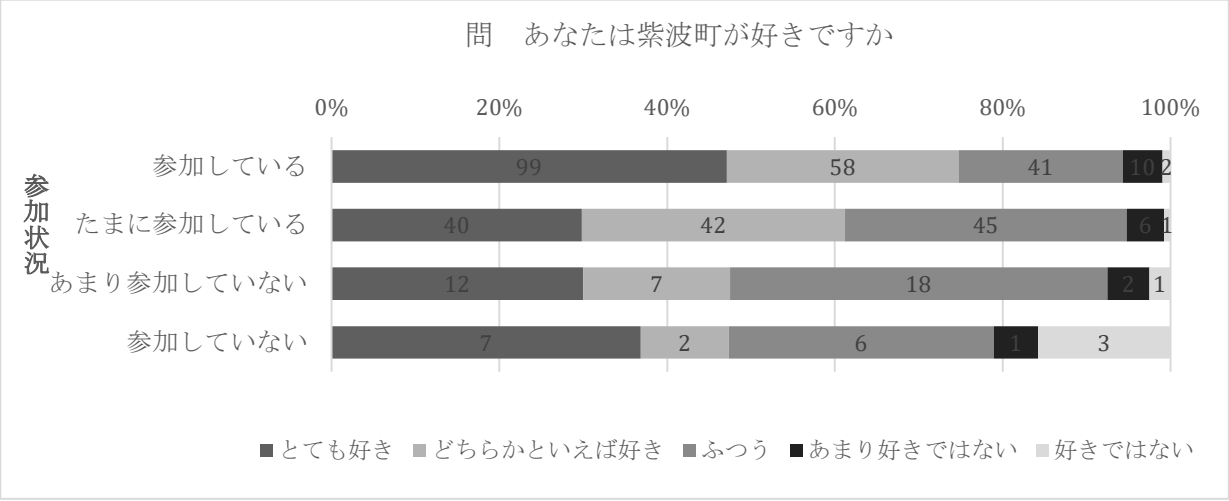
小中学生ともに地域活動に参加している割合が高い。



＜参加状況別、町の愛着度＞

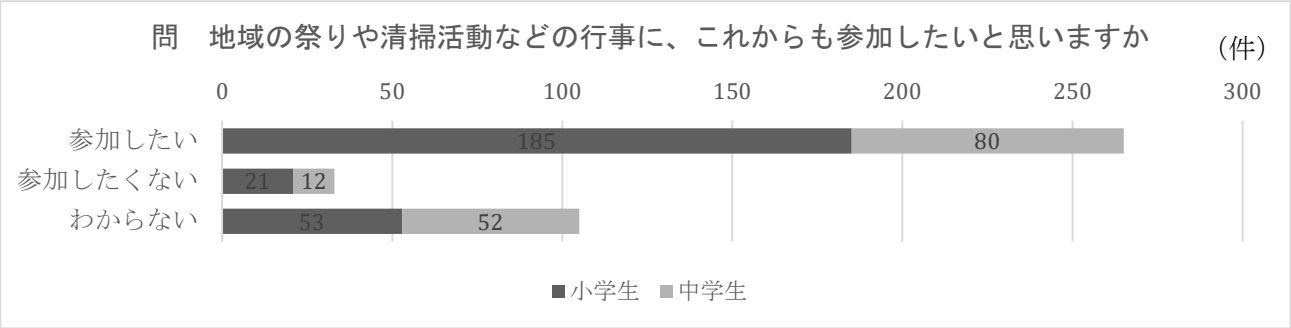
参加状況ごとに、町の愛着度（紫波町が好きか）の回答状況を割合で示したもの。

地域活動への参加頻度が高いほど、地域への愛着も強い傾向がみられたことから、地域活動への参加を促すことが、地域への愛着の醸成につながる可能性がある。



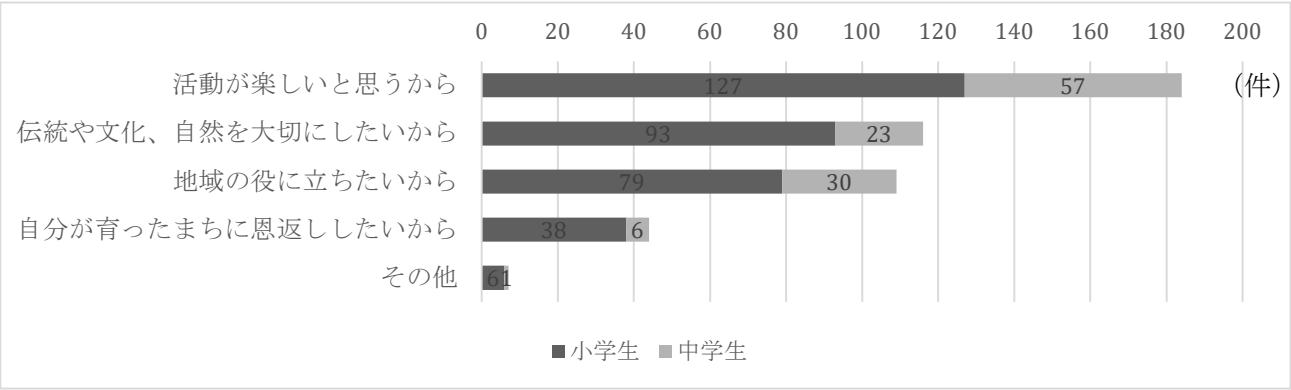
今後の参加意向

小中学生ともに「参加したい」が最も多かったが、中学生は「わからない」を選択した人も多かった。



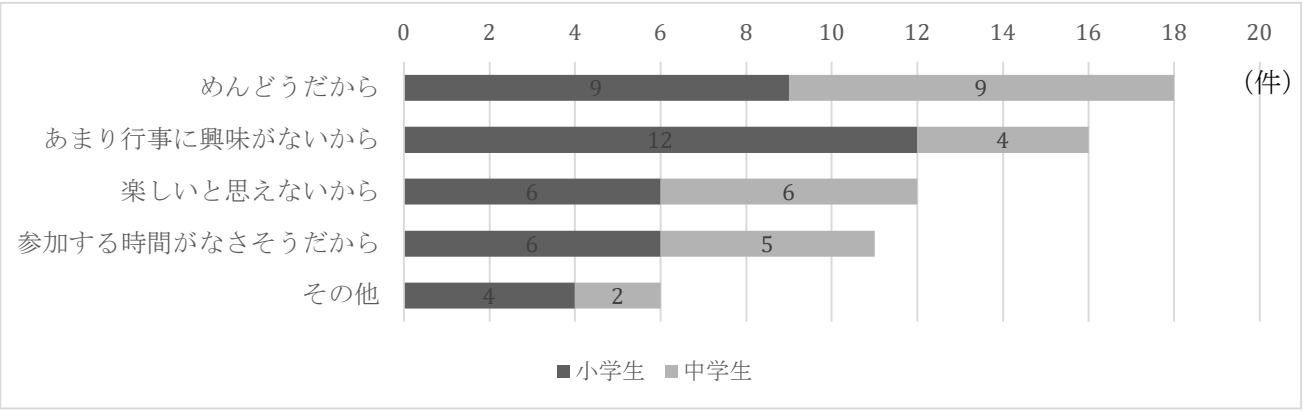
＜参加したい理由＞

小中学生ともに「活動が楽しいと思うから」が最も多く、楽しさが主な参加動機となっている。



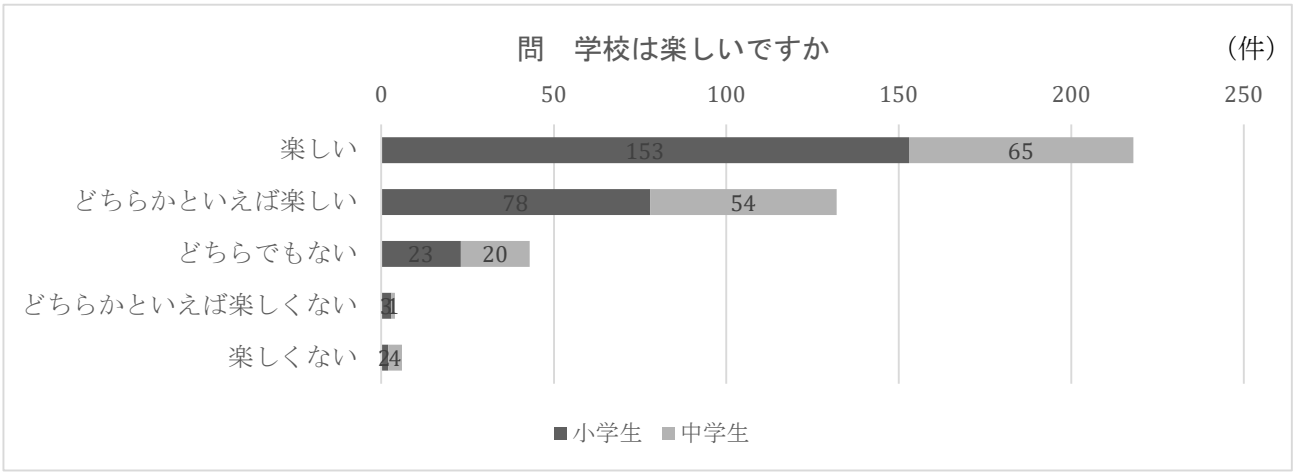
＜参加したくない理由＞

小学生は「興味がない」「めんどう」の順、中学生は「めんどう」「楽しいと思えない」の順に多かった。



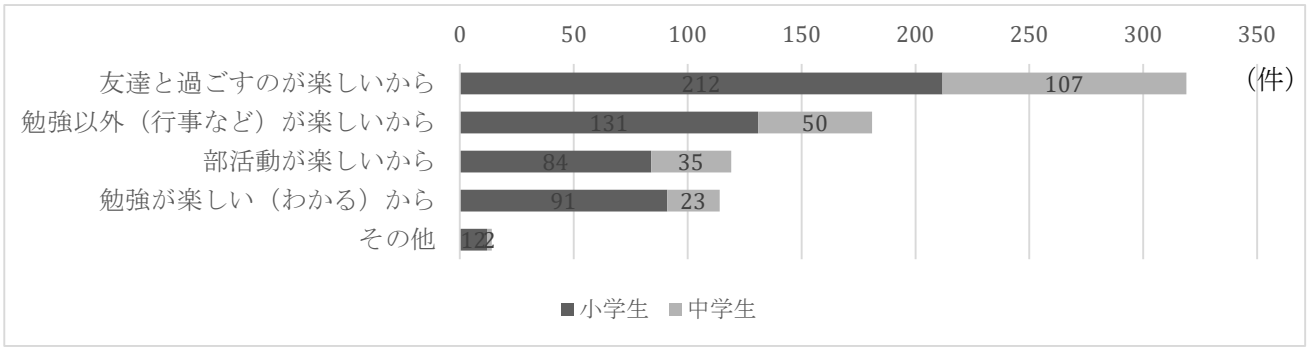
学校生活の充実度

学校生活について肯定的な回答が多数を占めている。



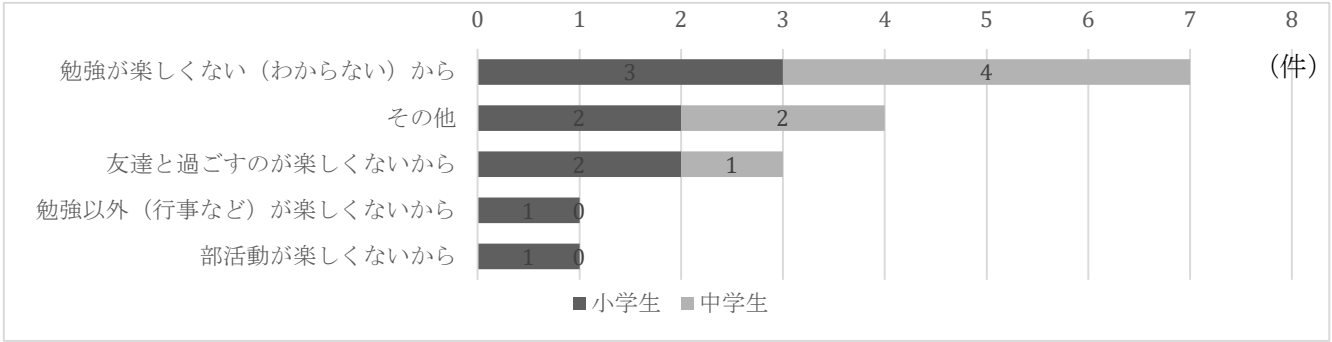
＜楽しい、どちらかといえば楽しい理由＞

小・中学生ともに「友達と過ごすのが楽しい」が最も高く、学校生活の楽しさに友人関係が大きく関係している。一方、小学生は中学生に比べ、行事や部活動、勉強など各項目の割合が高い。



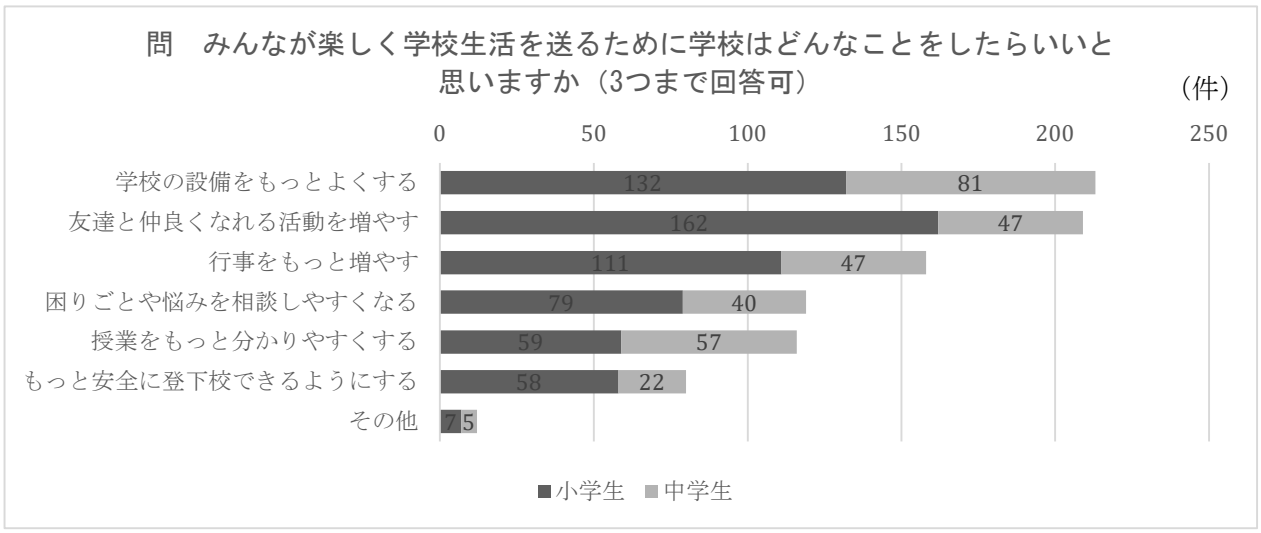
＜楽しくない、どちらかといえば楽しくない理由＞

どちらの年代も「勉強が楽しくない（わからない）」が最も多く、「その他」の理由としては、「めんどう」「いじめがある」「周りと授業を受けるペースが合わない」などが挙げられていた。



学校生活をより良くするために必要なこと

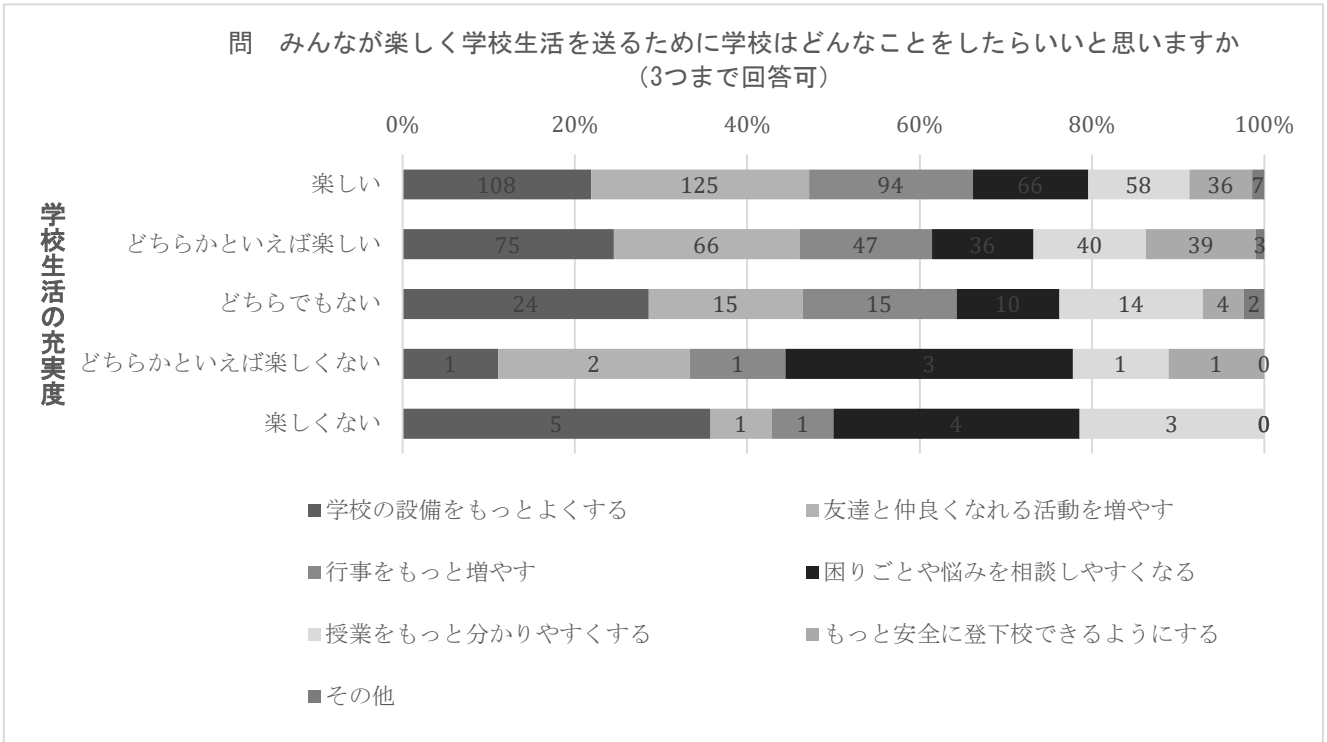
小学生は「友達と仲良くなれる活動」や「行事」など交流・活動へのニーズが高く、中学生は「学校の設備」や「授業」など学習・環境面の改善を求める傾向がみられた。



＜学校生活の充実度別、学校生活をより良くするために必要なこと＞

学校生活の充実度（学校が楽しいか）ごとに、「学校生活をより良くするために必要なこと」の回答状況を示したもの。

全体的に「学校の設備」や「友達と仲良くなれる活動」の割合が高かった。また、「どちらかといえば楽しくない」「楽しくない」と回答した層では、「困りごとや悩みを相談しやすくする」の割合も高かった。



望む町の姿

「問　あなたは、紫波町が将来どんな町になってほしいと思いますか（3 つまで選択可）」の回答をランキング形式で紹介。

小学生では安全・環境に関する項目、中学生ではお店や健康、交通などに関する項目が上位となった。

	小学生		中学生	
	項目	割合	項目	割合
1	犯罪や事故が少なく、安全なまち	41.7%	お店が多く、にぎわいがあるまち	50.7%
2	お店が多く、にぎわいがあるまち	35.9%	自然が豊かなまち	33.3%
3	ごみが少なく環境にやさしいまち	33.2%	犯罪や事故が少なく、安全なまち	31.3%
4	自然が豊かなまち	30.9%	電車やバスが使いやすいまち	21.5%
5	お店や公園などが近くにある便利なまち	28.6%	健康な生活を送れるまち	20.8%
			公園や住宅街が整備されているまち	20.8%

〈選択項目〉

1 健康な生活を送れるまち
2 自然が豊かなまち
3 農業や林業がさかんなまち
4 ごみが少なく環境にやさしいまち
5 お店が多く、にぎわいがあるまち
6 町外からたくさんの人が訪れるまち
7 電車やバスが使いやすいまち
8 お店や公園などが近くにある便利なまち
9 犯罪や事故が少なく、安全なまち
10 子育てしやすいまち
11 スポーツがさかんなまち
12　歴史や文化が受け継がれるまち
13　国籍や性別に関わらず多様性のあるまち

自由記述

「問　最後に、町長に伝えたいことやお願いしたいこと、ここまでの回答で伝えきれなかったことがあれば、教えてください。」

＜主な意見を抜粋して掲載＞

・遊ぶ場所を増やしてほしいです。
・公園を増やしてほしいです。
・もっと地域の人と交流できるイベントやお祭りを開催してほしいです。
・クマを山に返して、安全に暮らしたいです。
・この自然をいつまでも維持し続けていってください。
・紫波町は自然が豊かなので自然が豊かなのを生かしてほしいです。
・少し大きめの商業施設などがあったら生活が便利になると思います。
・もう少し便利にしてほしい、体が不自由な人も笑顔で暮らせるような街にしてほしいです。
・どの年代の人でも暮らしやすいような町にしてほしいです。